

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341090	保育内容（言葉）の指導法Ⅱ（1単位）	福井 千夏			1	選択	2前期前期

**科目の概要**

本科目は、「保育内容（言葉）の指導法Ⅰ」に引き続き保育内容の領域「言葉」についての学習を進める。「保育内容（言葉）の指導法Ⅰ」の学びをもとに、さらに実践的に子どものことばを豊かに伸ばしていく環境や保育者の働きかけ、保育の現場で使われることば、保育者自身のことば、さらに保育現場で会うことばの問題などについて、児童文化財を制作し実践しながら理解を深める。（DP2.3）また、模擬保育を取り入れ、保育実習・教育実習での部分保育を想定し、保育指導案の書き方も身に付けていく。（DP2.3）★保育園、幼稚園での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を生かした講義や演習を実施し、理解につなげていく。

学修内容	到達目標
① 保育の中での保育者のことばの特性について理解し、保育者のことばの特徴や子どもに合った表現について考える。」あるいは、実践的な視 ② 絵本や物語等、乳幼児が言葉に興味関心を持ち、想像する楽しさを味わえるような児童文化財の基本的な知識について学ぶ。 ③ ことばの発達を促す「ねらい」を持って模擬保育を行い、自己評価・相互評価を通し、課題を見つける。 ④ ⑤ ⑥	① 保育の中での保育者のことばの特性について理解し、子どもに適したことばを使うことができる。 ② 子どもの発達の状態に合わせて、児童文化財を自在に実践できる。 ③ ことばの発達を促す「ねらい」を持って模擬保育を行い、指導方法を工夫・改善することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自分自身の言語活動のみつめなおし、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉遣いや立ち居振る舞いができるようにを日常的に努力をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題に対し積極的な自主学修をし、持てる力を精いっぱい発揮して完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	乳幼児に対する保育者の理想的な言葉かけを実践できるようになるために、何をしていくべきか、常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つことができる。
	計画力	
	創造力	乳幼児が楽しめるような言葉を使った遊び等を考案していくことができる。
チームで働く力	発信力	授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べるることができる
	傾聴力	授業中は他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席などをせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

参考文献①田中謙 編著『デザインする保育内容指導法「言葉」』教育情報出版（2200円）  
 ②中坪史典，請川滋大監修 渡邊真帆編 新・保育シリーズ13保育内容「言葉」学術図書出版社（2000円）  
 ③平成31年度改訂『保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領』

**他科目との関連、資格との関連**

本科目は専門科目の幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目であり、保育内容（言葉）や保育内容（言葉）の指導法Ⅰ，保育内容関連科目（総論、表現、言葉、人間関係、健康）と関連する科目である。  
 関連する資格・免許：保育士・幼稚園教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>無断欠席・無断遅刻をしない。遅刻・欠席する際は、必ず担当教員に連絡をいれること。</li> <li>作品製作、模擬保育の準備、保育指導案作成などの作業が多くなるが、子どもの姿を想像しながら、よく考え、丁寧に取り組むこと。</li> <li>日頃より絵本や童話、紙芝居などの児童文化財に触れて親しむこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら積極的に授業に参加し、「やってみる」ことを心がけること。</li> <li>無断欠席、無断遅刻をしない。必ず、授業開始前に連絡を入れること。</li> <li>私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。</li> <li>レポート・教材制作・授業態度等によって評価する。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
		レポート		40	①					児童文化財，ことば遊びに関するワークシート（20点） いずれも自分なりに活用方法について考えているかをもって評価する。 指導案作成（20点） 子どもの言葉の発達を促す観点をもって指導案を作成できているかを評価する。 （獲得）60% （活用）20% （解決）20%
					②	✓				
③					✓					
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			50	①	✓			児童文化財の作成（30点） いずれも子どもの言葉の発達を促すをもって制作できているか、子どもの興味関心をひくような作品になっているかを評価する。 模擬保育（20点） 子どもの発達の状態に合わせて、児童文化財を自在に実践できる。 （活用）50% （解決）50%		
				②	✓					
	③			✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			授業を振り返り、授業所感（授業に関する意見・感想）を期日までに提出することで評価する。			
			②	✓						
			③	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レベルS（秀）は、学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿勢がみられ、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。</p> <p>レベルA（優）は、学修内容すべてにおいて十分な理解ができており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。</p>	<p>レベルB（良）は、学修内容が理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準以上を満たしており、かつ到達レベルA（優）までの評価が基準となる。</p> <p>レベルC（可）は、学修内容がおおむね理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準を満たしている評価であることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーションを行う。保育所、幼稚園での自己紹介を考える。	講義 グループワーク 成果発表	授業の目的・目標・評価方法について理解できる。 保育所、幼稚園での自己紹介を想定し、自己紹介の方法を考え、実践できる。	(予習) 授業シラバスを事前に読み、疑問点及び質問事項を考えておく。 (復習) 授業の目的・目標・評価方法について確認しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	自己紹介のスケッチブックシアターの作成①	講義 演習 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・スケッチブックシアターの目的と方法について理解できる。 ・子どもの発達に合わせたスケッチブックシアターの作成ができる。	(予習) 子どもと双方向のやりとりができるような自己紹介の内容を考えておく (復習) スケッチブックの仕掛けについて、調べておく	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	自己紹介のスケッチブックシアターの作成②	講義 演習 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・スケッチブックシアターの目的と方法について理解できる。 ・子どもの発達に合わせたスケッチブックシアターの作成ができる。	(予習) 子どもと双方向のやりとりができるような自己紹介の内容を考えておく (復習) スケッチブックの仕掛けについて、調べておく	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	自己紹介スケッチブックシアターの成果発表	成果発表 相互評価 相互評価表の提出 (Google classroom)	・他者の発表をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習) 成果発表の練習をしておくこと。 (復習) 発表を振り返り、改善点を見つけること	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
5	児童文化財(パネルシアター、手袋シアター等)の作成①	講義 演習 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・パネルシアターの目的と方法について理解できる。 ・子どもの発達に合わせたスケッチブックシアターの作成ができる。	(予習) 子どもと双方向のやりとりができるようなパネルシアター・手袋シアターの内容を考えておく (復習) 子どもの興味関心を高め、ことばを豊かにする演じ方について考えながら次週の準備をする	90	主体性 実行力 創造力 規律性
6	児童文化財(パネルシアター、手袋シアター等)の作成②	講義 演習 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・パネルシアター・手袋シアターの目的と方法について理解できる。 ・子どもの発達に合わせたスケッチブックシアター・手袋シアターの作成ができる。	(予習) 子どもと双方向のやりとりができるようなパネルシアター・手袋シアターの内容を考えておく (復習) 子どもの興味関心を高め、ことばを豊かにする演じ方について考えながら次週の準備をする	90	主体性 実行力 創造力 規律性
7	児童文化財(パネルシアター、手袋シアター等)の作成③	講義 演習 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・パネルシアター・手袋シアターの目的と方法について理解できる。 ・子どもの発達に合わせたスケッチブックシアター・手袋シアターの作成ができる。	(予習) 子どもと双方向のやりとりができるようなパネルシアター・手袋シアターの内容を考えておく (復習) 子どもの興味関心を高め、ことばを豊かにする演じ方について考えながら次週の準備をする	90	主体性 実行力 創造力 規律性
8	作成した児童文化財を活用した保育指導案の作成	講義 指導案の作成・提出	対象乳幼児の発達段階を考慮し、作成した児童文化財を活用した保育指導案を作成することができる	(予習) 配布資料を読み、指導計画作成についての要点を把握しておくこと。 (復習) 必要に応じた指導計画の修正と模擬保育に向けた準備	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	児童文化財を活用した模擬保育(クラス前半)と相互評価	成果発表(模擬保育) 相互評価 相互評価表の提出 (Google classroom)	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、話し方や表情に工夫して発表(模擬保育)できる。 ・他者の発表(模擬保育)をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習)作成した指導案をもとに、発表(模擬保育)の練習をしておくこと。 (復習)発表(模擬保育)を振り返り、改善点を見つけること	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
10	児童文化財を活用した模擬保育(クラス後半)と相互評価	成果発表(模擬保育) 相互評価 相互評価表の提出 (Google classroom)	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、話し方や表情に工夫して発表(模擬保育)できる。 ・他者の発表(模擬保育)をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習)作成した指導案をもとに、発表(模擬保育)の練習をしておくこと。 (復習)発表(模擬保育)を振り返り、改善点を見つけること	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
11	ことば遊び① ことば遊びについて調べ、グループごとにまとめて発表する。	講義 グループワーク	・ことば遊びを調べ、それぞれの対象年齢や遊び方についてわかりやすくまとめることができる。 ・他者の発表を聞き、保育場面で活用できるように自分でまとめる	(予習)ことば遊びについて、下調べをする。 (復習)発表を振り返り、良いところや参考にしたいところを見つけ、保育のイメージを膨らませておく。	90	
12	ことば遊びの指導案作成	講義 指導案の作成・提出	対象乳幼児の発達段階を考慮し、ことば遊びの保育指導案を作成することができる	(予習)配布資料を読み、指導計画作成についての要点を把握しておくこと。 (復習)必要に応じた指導計画の修正と模擬保育に向けた準備	90	
13	ことば遊びの模擬保育(クラス後半)と相互評価	成果発表(模擬保育) 相互評価 相互評価表の提出 (Google classroom)	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、話し方や表情に工夫して発表(模擬保育)できる。 ・他者の発表(模擬保育)をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習)作成した指導案をもとに、発表(模擬保育)の練習をしておくこと。 (復習)発表(模擬保育)を振り返り、改善点を見つけること	90	
14	ことば遊びの模擬保育(クラス前半)と相互評価	成果発表(模擬保育) 相互評価 相互評価表の提出 (Google classroom)	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、話し方や表情に工夫して発表(模擬保育)できる。 ・他者の発表(模擬保育)をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習)作成した指導案をもとに、発表(模擬保育)の練習をしておくこと。 (復習)発表(模擬保育)を振り返り、改善点を見つけること	90	
15	授業のまとめと振り返りレポートの作成	グループワーク 振り返りレポートの作成・提出 (Google classroom)	・自分たちの発表の振り返りや15週に授業の振り返りを通して、今後の課題を明らかにする。	(予習)15回の授業を通して学んだことを振り返っておくこと。 (復習)作成したレポートをもとに、今後の学修目標を立てる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力